



玄関ドア(DD枠)

取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡してください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- ドア本体に錠セットを取付けて、枠に吊込んだ後はラッチボルトを掛けて躯体に固定してください。又、枠ごと運ぶ場合はラッチボルト、およびデッドボルトを掛けてください。錠セットを取付ける前に枠に吊込むとドアが勝手に開き、ケガをするおそれがあります。
- 建付け調整のとき、丁番取付けねじを全部外さないでください。ドア本体が脱落し、ケガをするおそれがあります。
- 丁番取付けねじ、および丁番裏板取付けねじは増締めをして締付けてください。締付けがゆるいとドア本体脱落の原因となります。(締付けトルクは、 $2.5 \pm 0.5\text{N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5\text{kgf} \cdot \text{cm}$ })
- 枠周りの漏水防止のため下記事項をお守りください。
 - ・指定個所にはシーリング処理をしてください。
 - ・シーリング個所にはコーキング材専用のプライマーを使用してください。(別途)
 - ・コーキング材は、1成分系変性シリコーンを使用してください。(別途)
 - (ALC 外壁の場合は、専用のポリウレタン系シーリング材を必ず使用してください。(別途))

■取付け上のお願い

- 枠の取付けは、必ず指定の取付けねじを指定の本数使用して取付けてください。
- 本製品は土間納まり専用の商品です。土間以外の納まりに使用する場合は、下枠部の防水施工を行ってください。

■使用ねじ・部品一覧表

㊦	㊧	㊨	㊩
皿木ねじφ 3.8×45	ナベタッピンねじφ 4×25	スクルー釘φ 2.1×25	皿木ねじφ 3.5×20

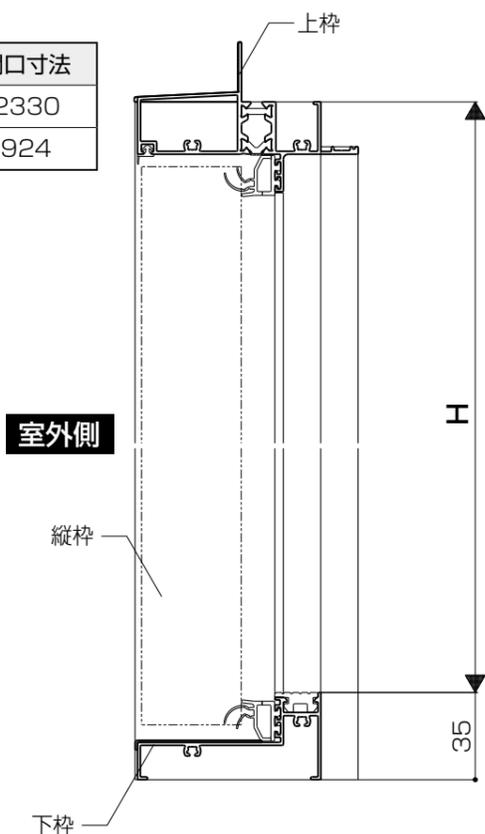
■取付け順序

1 開口部の確認

- ①開口寸法(H・W)は、下表(製品基本寸法)をもとに確認してください。
- ②下げ振り等で前後・左右のくるいや、柱のねじれなどを正しく調整し、水準器でまぐさの水平を出してください。

■製品基本寸法

	タイプ	開口寸法
H23	ランマなし	2330
W	片開き	924

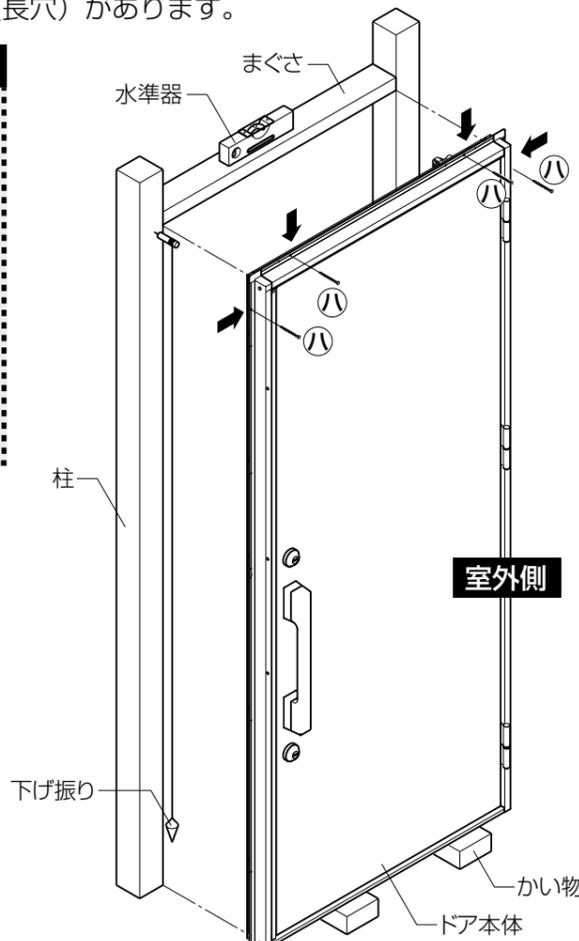


2 枠の仮止め

- ※図中の記号は、取付けねじの種類を表します。
- 扉を枠に吊込み、一体にして開口部に仮止めします。
- ※(➡)の位置に仮止め用の釘穴(長穴)があります。

▲注意

- ドア本体に錠セットを取付け、枠に吊込んだ後はラッチボルトを掛けて躯体に固定してください。又、枠ごと運ぶ場合は、ラッチボルトおよびデッドボルトを掛けてください。

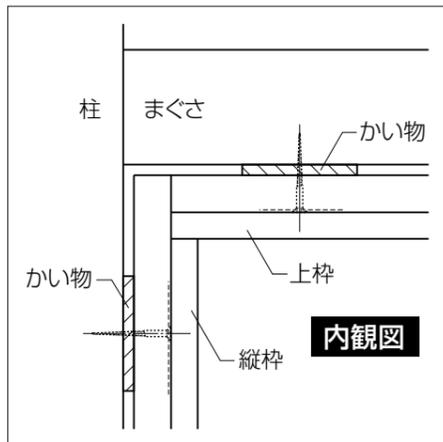


3 躯体への取付けとすき間（チリ）の調整

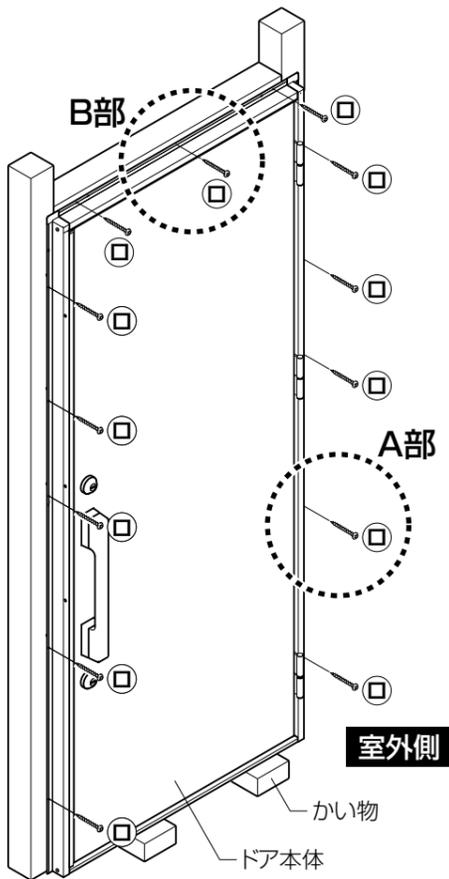
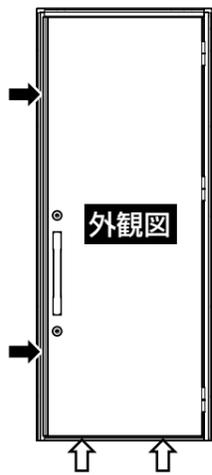
- ①上下（↑）および、左右（➡）のすき間を均等にし、戸当り気密材が密着するように枠のねじれ・コロビを調整します。
- ②枠と躯体とのすき間には、かい物を当てて、固定してください。
※かい物を当てずに固定すると、枠のゆがみやねじれを生じますのでご注意ください。

■コンクリート納まりの場合

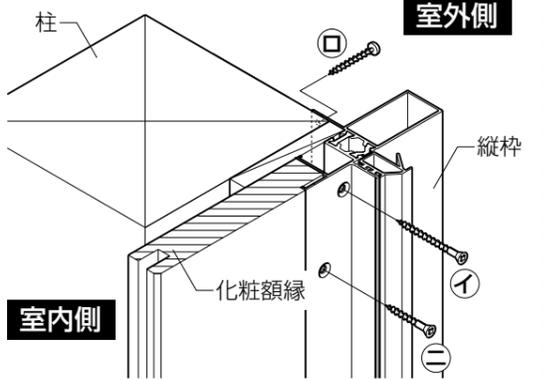
- アンカーは別売りを使用します。取付け説明書は、アンカーセットの中に同梱してあります。



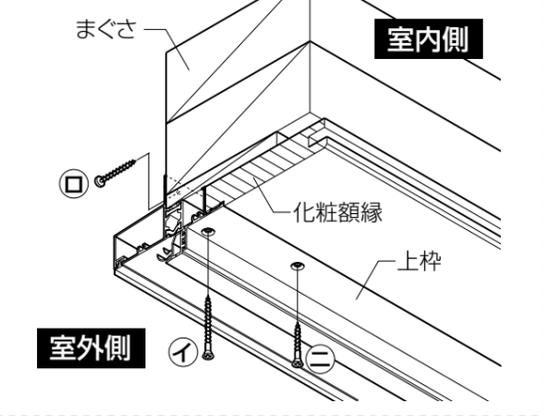
■チリの調整



■A部詳細図



■B部詳細図



4 ストライクの調整

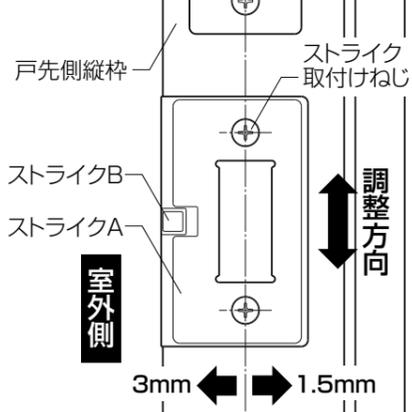
- ドアロックのラッチがかからない場合やガタツキがある場合は、下図を参考にストライクの取付けねじをゆるめ、ストライクA・Bの位置を調整してください。

- ①ストライク取付けねじをゆるめ、ストライクA（表板）を動かして調整してください。（図-1）室外側に3mm、室内側に1.5mm動きます。
- ②ストライクAで調整しきれない場合は、ストライクA・B（表板+裏板）ごと動かして調整してください。（図-2）さらに室外側へ2mm動きます。（合計5mm動きます）

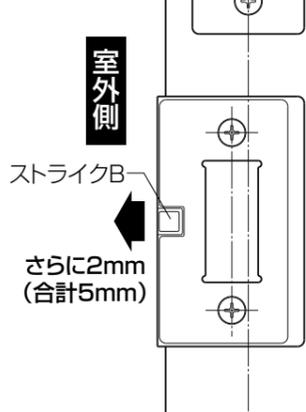
お願い

※ストライク取付けねじを全部外さないでください。トロコケが脱落し、取付けられなくなります。

（図-1）



（図-2）

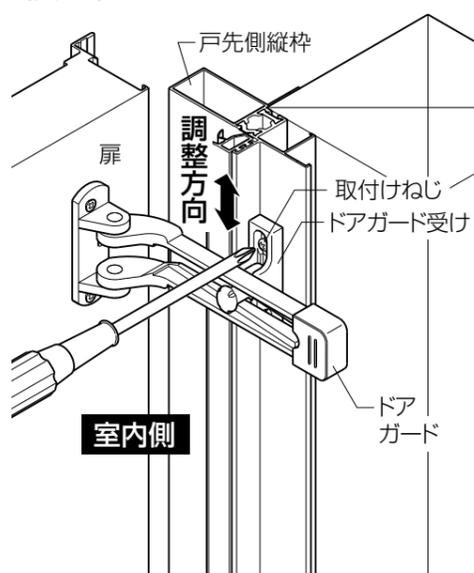


5 ドアガードの調整

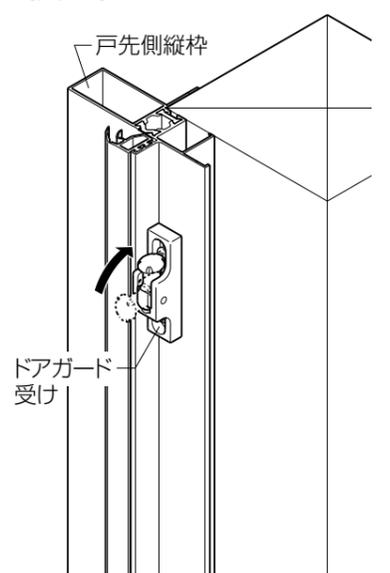
※ドアガードが受けに掛らない場合は、受けの取付けねじをゆるめ、位置を調整してください。（本体側のドアガードは調整できません。）

- ドアガードアームがスムーズに操作できるか、確認してから本固定してください。（図-3）
- ドアガードを使用しない場合は、受けの突起を収納してください。（図-4）

（図-3）



（図-4）



■建付け調整

※ドア本体を吊込んだ後、枠と本体のすき間が納まり図通りになっているか確認してください。

すき間が納まり図通りになっていない場合は、以下の手順ですき間を調整してください。（納まりは、「■参考収まり図」を参照してください。）

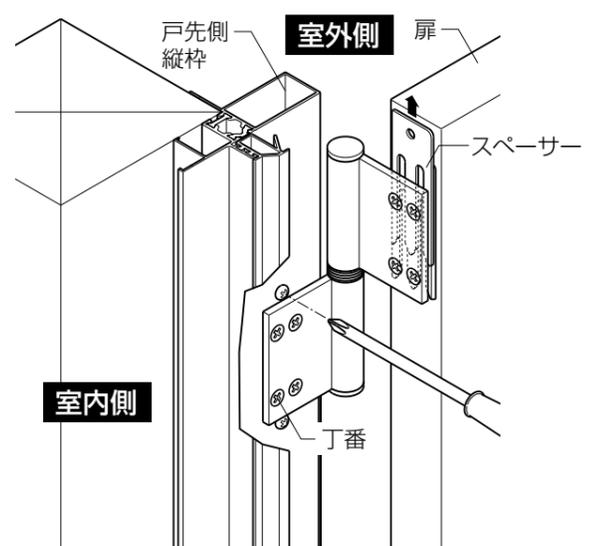
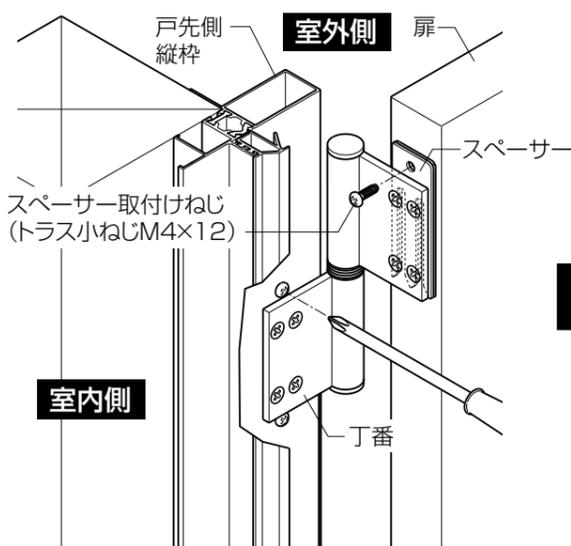
1 左右方向のすき間の調整

※スペーサーは、あらかじめ本体に取付けてあります。

- ①スペーサー取付けねじを外します。
 - ②丁番取付けねじ（4本）をゆるめます。
 - ③スペーサーを引抜いて外します。
 - ④丁番ねじを締付けます。
- ※スペーサーを1枚外すと1.5mm、2枚外すと3mm ドア本体が吊元側へ寄ります。
※スペーサーを追加すると、戸先側へ寄ります。

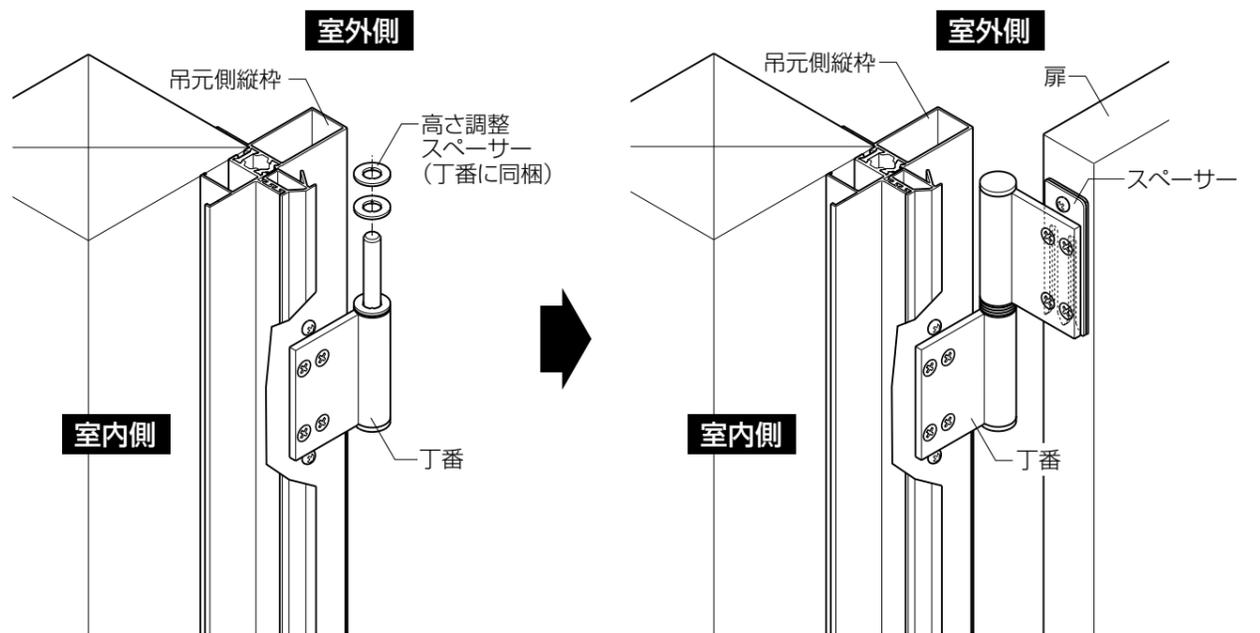
▲注意

- 丁番取付けねじを全部外さないでください。



2 上下方向のすき間の調整

- ドアを枠から外し、丁番の軸に付属の高さ調整スペーサー（丁番に同梱）を入れます。
- ※ 1枚入れると1.5mm、2枚入れると3mm ドアが上に上がります。



3 前後（室内・室外側）方向の調整

- ① ドア本体を枠から外し、枠側の丁番取付けねじ（4本）と丁番裏板取付けねじ（2本）をゆるめます。

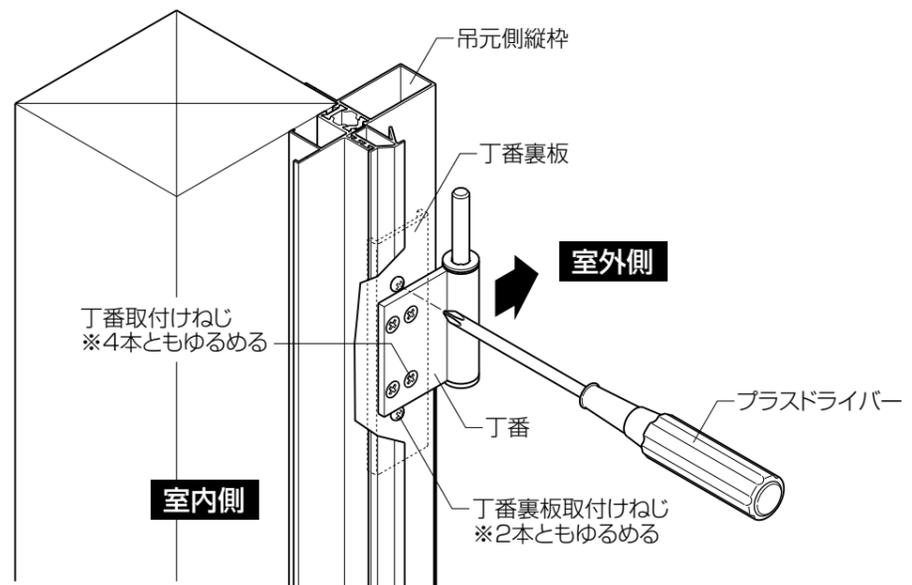
お願い

※取付けねじを全部外さないでください。
丁番裏板が脱落し、取付けられなくなります。

- ② 丁番裏板ごと前に出すと室外側に1.5mm、後にずらすと-1.5mmまでドア本体が動きます。
- ③ ①でゆるめた丁番取付けねじと、丁番裏板取付けねじを締付けます。

▲注意

- 丁番取付けねじ、および丁番裏板取付けねじは増締めをして締付けてください。（締付けトルクは、 $2.5\text{N}\cdot\text{m}$ { $25\text{kgf}\cdot\text{cm}$ })



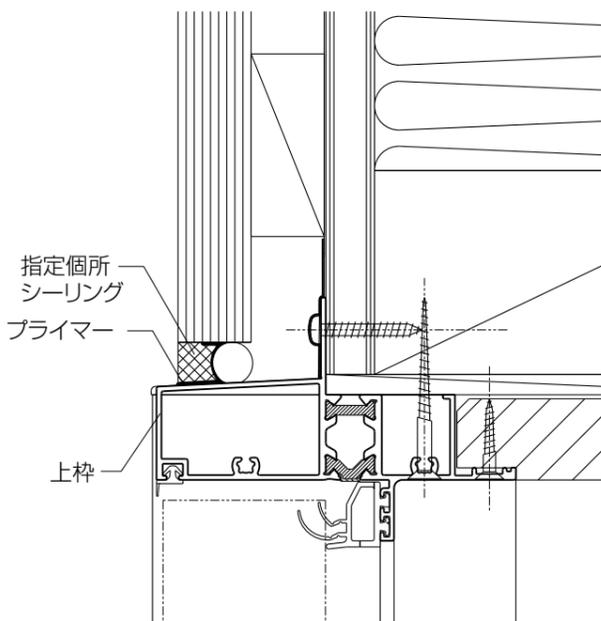
■ 枠周りと壁のシーリング処理

- 枠周りの漏水防止のため、シーリング処理をします。

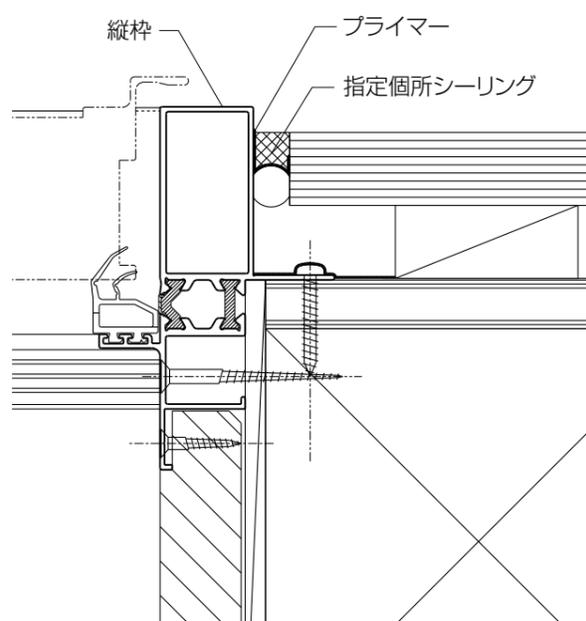
▲注意

- 指定個所にはシーリング処理をしてください。
- シーリング個所にはコーキング材専用のプライマーを使用してください。（別途）
- コーキング材は、1成分系変性シリコーンを使用してください。（別途）（ALC外壁の場合は、専用のポリウレタン系シーリング材を必ず使用してください。（別途））

【上枠断面詳細図】

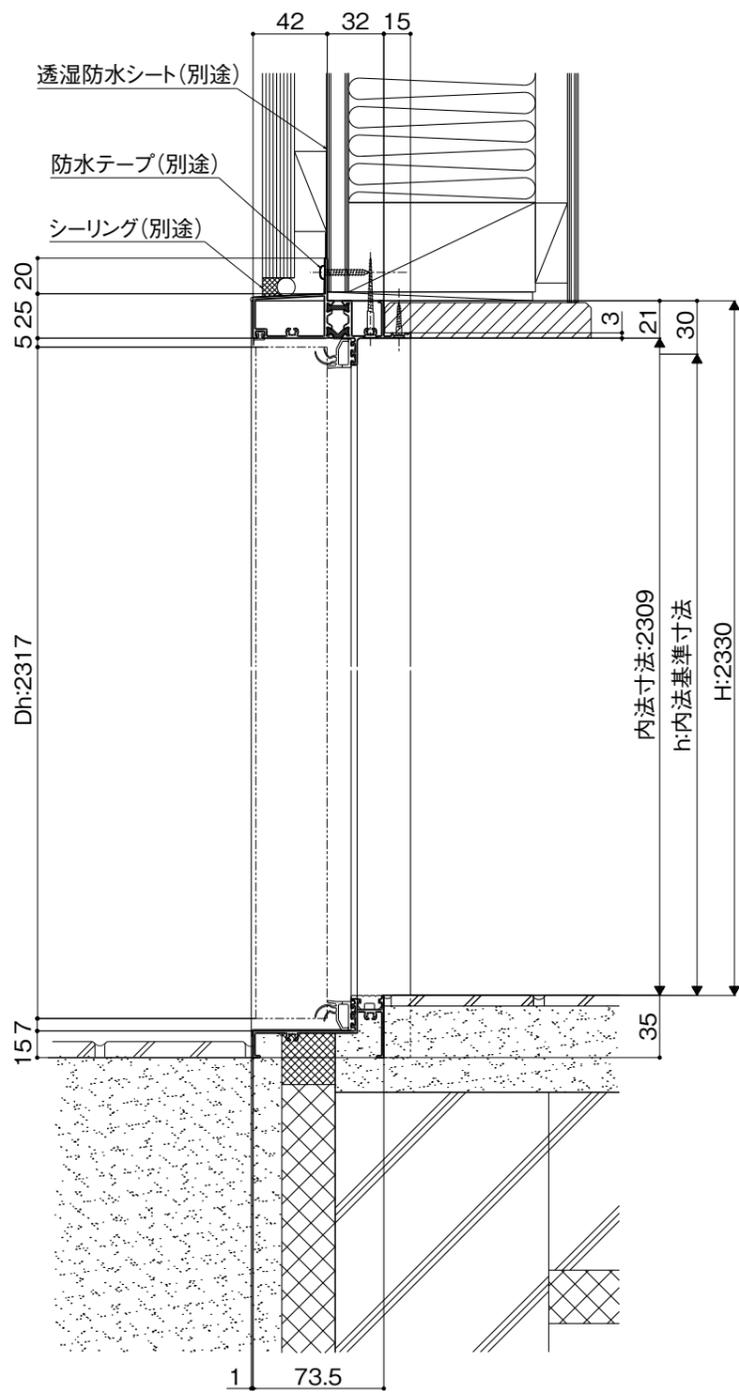


【縦枠断面詳細図】



■参考納まり図

■縦断面図(片開きk3仕様例)



■横断面図(片開きk3仕様例)

